

## 幻のメロン



岩沼市の押分地区では、クールボジャメロンの出荷が今、最盛期を迎えている。

愛知県で開発されたこの品種は、メロン特有のえぐみが弱く、甘みが強い点に特徴がある。しかし、栽培の難しさから全国に定着することはなく、現在では岩沼市と隣接する名取市のごく限られた地域だけで生産されている。

生産している相野釜ハウス園芸組合は1969年（昭和44）に前身となる組合が設立された。当時新品種だったクールボジャの生産を始めたのは1973年（昭和48）頃で、組合で以前から育ててきたスイカやシマウリなどのノウハウが活かされたという。

現在は19棟のハウスでクールボジャの栽培をしているが、収穫量が限られているため、直売もしくは電話注文でのみ販売している。市場への流通はないものの、北は北海道から南は沖縄までファンがいて、例年全国から注文が殺到する。

組合長の宍戸繁さん（72）は「今後も作る以上はおいしくて安全・安心なものを届けたい」と話す。

その希少性から「幻のメロン」とも称されるクールボジャ。一度味わってみてはいかがだろうか。

